

# 火の類

これが

# 病害防除 の顔役

# トリワミン® 水和剤

### 適用病害と使用方法

\*印は、収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前(摘採前)の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期*	総使用回数*		使用方法	
					本剤	トリフルミゾール		
りんご	黒星病・うどんこ病・赤星病・斑点落葉病	2,000~3,000	200~700ℓ/10a	7日	3回	3回	散布	
なし	黒星病・赤星病			前日				
かき	うどんこ病			7日				
ぶどう	黒とう病			前日	3回	(休眠期は1回)		
もも	灰星病・黒星病			14日				
	うどんこ病			2回		2回		
すもも	灰星病			前日				
おうとう	黒星病			3日	3回	3回		
うめ	赤星病			7日				
マルメロ	うどんこ病			定植時および生育期(30日)	6回	6回 (散布は3回)	灌注	
かりん	株枯病	500	1ℓ/株	7日	3回	3回	散布	
あけび(果実)	さび病・そうか病	2,000	200~700ℓ/10a	30日				
マンゴー	すす紋病			7日				
いちじく	未成熟とうもろこし			前日	5回	5回		
とうもろこし	うどんこ病	3,000	100~300ℓ/10a	5回	3回	3回		
未成熟とうもろこし	じやのめ病			3回				
にんじん	うどんこ病			7日				
いちご	さやえんどう	3,000~5,000	100~300ℓ/10a	前日	5回	5回		
ピーマン・すいか	うどんこ病			3回	3回	3回		
さやえんどう	黒星病			7日				
メロン	陥没病	3,000	100~300ℓ/10a	3回	5回	5回		
きゅうり	うどんこ病	3,000~5,000		7日				
にがうり	黒星病	3,000		前日				
うり類(漬物用)	うどんこ病	3,000~5,000	100~300ℓ/10a	5回	5回	5回		
	つる枯病・炭疽病			7日				

# トリフミン® 水和剤

有効成分：トリフルミゾール……30.0%  
人畜毒性：普通物  
(毒劇物に該当しないものを指している通称)

## 特長

- ①多くの病害に効果があり、防除の困難な病害の基幹防除剤として適します。
- ②予防効果と治療効果に優れ、病斑の拡大や胞子形成を阻止します。
- ③浸透性に優れるので、散布後の降雨も効果にほとんど影響がありません。
- ④低濃度で効果が持続し、他剤耐性菌にも優れた効果があります。
- ⑤作物に対し、汚れ・薬害の心配が少なく、また人畜への悪影響も少ない薬剤です。

## 適用病害と使用方法

\*印は、収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前(摘採前)の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
					本剤	トリフルミゾール
トマト・ミニトマト	葉かび病 すすかび病	3,000~5,000 3,000	100~300ℓ/10a	前日	5回	散布
な す	うどんこ病 すすかび病	3,000~5,000 3,000			5回	
とうがらし類	うどんこ病	4,000~5,000			5回	
かぼちゃ	うどんこ病	3,000~5,000			(種子粉衣は1回)	種子粉衣(湿粉衣)
ねぎ	萎凋病	種子重量の0.3% 50 200	—	は種前 定植直前	5~30分間苗根部浸漬	5~30分間苗根部浸漬
たまねぎ こんにゃく	乾腐病	50	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壤約50g)当たり1ℓ	植付前	1回	苗床灌注
らっつきょう	黒球病	—			1回	5分間苗根部浸漬
アスパラガス	立枯病	1,000	3ℓ/m²	7日		種いもの芽基部に散布
食用ゆり	鱗茎さび症	50	—	植付前		5~30分間種球浸漬
バセリ	うどんこ病	8,000		30日		5分間種球浸漬
葉しようが	白星病	1,000		7日		灌注
しょうが	—					種球瞬間浸漬
ごぼう	うどんこ病	—		前日		
オクラ	黒斑病・うどんこ病	5,000	100~300ℓ/10a	収穫開始10日前まで(収穫開始後は使用しない)	3回	散布
しそ	さび病	—		30日	3回	
にら	—	5,000		7日		
ふき	うどんこ病	2,000		前日		
にんにく	葉枯病	3,000	100~300ℓ/10a	14日		
		2,000		前日		
稻	ばか苗病 いもち病 ごま葉枯病	30 300 乾燥もみ重量の0.5%	—	浸種前	1回	10分間種子浸漬 24~48時間種子浸漬
麦類	斑葉病・裸黒穗病・ なまぐさ黒穂病・ 網斑病	種子重量の0.5%	7.5~15	乾燥もみ1kg当たり30mℓ	3回	種子粉衣(湿粉衣)
うどんこ病・赤かび病	1,000~2,000	—	は種前			種子吹き付け処理(種子消毒機使用)
茶	炭疽病	1,500~2,000	60~150ℓ/10a	14日		
たばこ	もち病	1,000~1,500	200~400ℓ/10a	(摘採)14日	3回	種子粉衣
ばら	うどんこ病	5,000	25~180ℓ/10a	10日	3回	
きく	3,000~5,000			2回		
花き類・観葉植物 (ばら、きくを除く)	3,000	1,000	100~300ℓ/10a	発病初期	5回	散布
樹木類	うどんこ病	—	200~700ℓ/10a		5回	
チューリップ	球根腐敗病	球根重量の0.2%	—	植付前	1回	1回

### 効果・薬害等の注意

- なしの品種「幸水」に使用する場合は、樹勢が弱いと高濃度で葉に軽度な黄斑を生ずる場合があるので、所定範囲内の低濃度で使用してください。
- なしでは、MEP剤との混用により薬害を生じるおそれがあるのでさけてください。
- りんごに使用する場合、黒星病、赤星病、うどんこ病の防除を主体とし、斑点葉棄病に対しては、落花後20日ごろまでの初期防除剤として使用してください。
- いちじくの株枯病に対して灌注処理する場合は、1ヶ月間隔で使用することが望ましいです。
- かきの黒点病に対しては、多発時には効果が劣る場合があるので注意してください。
- うり類の幼苗期には、濃緑化症状および生育抑制が生ずることがあるので、使用しないでください。
- チューリップの球根粉衣に使用する場合は、適当な容器内で球根に本剤を均一に粉衣してから植え付けてください。
- スイートピーに使用する場合は、薬害を生じるおそれがあるので、開花期以降は使用をさけてください。
- 水稻の種子消毒に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
- ①種子消毒は浸種前にすること。

①使用前にはラベルをよく読んでください。 ②ラベルの記載以外には使用しないでください。 ③本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

### 安全使用上の注意

- 誤飲・誤食などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。(刺激性)
- 皮ふに付着しないように注意してください。付着した時は直ちに石けんでよく洗い落してください。(弱い刺激性)
- 使用の際は、農薬用マスク、不透湿性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足・顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うかいをしてください。
- かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯してください。
- 薬剤処理した種子は、食糧・飼料に使用しないよう注意してください。
- 街路・公園等で使用する場合は、使用中および使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係ない者が使用区域に立ち入らないよう網戻いや立札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないように注意を払ってください。
- 保管 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない、冷涼・乾燥した所。

本資料は2012年5月現在の登録内容に基づいています。



# 日本曹達株式会社

本社 〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号

☎(03)3245-6178 FAX(03)3245-6084

ホームページアドレス <http://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/>

大阪支店 ☎(06)6229-7343 東京営業所 ☎(03)3279-6961

札幌営業所 ☎(011)241-5581 名古屋営業所 ☎(052)238-0003

仙台営業所 ☎(022)227-1741 福岡営業所 ☎(092)771-1336

松山営業所 ☎(089)931-7315